

■特別行事■

●標本の名前を調べよう

自分で採集した動物、昆虫、クモ、植物、きのこ、化石、岩石などの標本の名前を、各分野の専門家がお答えします。名前を調べたい標本は、自分で整理して、できるだけ図鑑などで名前を調べ、分からなかったものをお持ちください。土器や石器などの考古学資料は扱いません。

日時：8月21日（日）午前10時～11時30分、
午後12時30分～2時、2時30分～4時
（各回90分）

定員：各回30名（定員を超えた場合は抽選）

参加費：無料（博物館入館料必要）

お問合せ：植物研究室 横川

お申込み：必要 <締切 8月7日(日)>

■室内実習■

博物館に備え付けの研究機器を活用して、分析的な観察・実習をおこないます。

●昆虫パラタクソノミスト講座 第1回

似たものがたくさんいて紛らわしい昆虫も、名前が分かると、それを手がかりにいろいろな情報を得ることができます。そのためには虫の形をよく見て、資料と照らし合わせて名前を特定する作業（同定）が重要です。今回はウスバカゲロウについて、種の同定が自分で行えるようになることを目的に実習形式で行います。

日時：8月11日（木・祝）午前11時～午後4時

場所：自然史博物館 実習室

定員：24名（定員を超えた場合は抽選）

参加費：無料

お問合せ：昆虫研究室 松本

お申込み：必要<締切 7月29日(金)>

●ホネ標本の作りかた（未成年向け）

自分で骨格標本を作れるようになります。ホネ標本の作り方を解説した上で、手羽先を使って、実際に簡単な骨格標本を作ってみます。

日時：8月14日（日）午前10時～午後3時頃

場所：自然史博物館 実習室

定員：24名（定員を超えた場合は抽選）

参加費：材料費などを含め500円程度を予定

お問合せ：動物研究室 和田

お申込み：必要<締切 7月30日(土)>

■教員向け行事■

※どちらの行事も、新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては、内容を変更またはZoomを利用したオンライン開催となる場合があります。

●博学連携ワークショップ2022 ～博物館×学校×学習指導要領～ 第1回

ワークショップのテーマは、「学習指導要領」の重要な視点である「新しい時代に必要となる資質・能力の育成」「社会に開かれた教育課程」「主体的・対話的で深い学び」の実現です。これを実現するための博物館と学校が協働で実践できる教育とは、どんなものでしょう。さまざまな事実や観察から「問い」を見つけ、その解を見つけるために、研究方法を考え、実際に調査・研究する学芸員の活動は、もしかしたら、学習指導要領の重要な視点につながるかもしれません。ワークショップを通して、博学連携について、一緒に考えてみませんか。

日時：6月25日（土）午後1時～4時15分

定員：30名（定員を超えた場合は抽選）

参加費：無料

お問合せ：学校と博物館連携担当

お申込み：必要 <締切 6月17日(金)>

●教員のための博物館の日2022

新型コロナウイルス感染症のため、一昨年は中止、去年はオンラインでの開催となった教員のための博物館の日。今年も、自然史博物館での実施を予定しています。教育現場での博物館の活用の仕方、学芸員による展示解説、実習などの体験型プログラムを行います。また、上記の博学連携ワークショップの第2回として、博物館のワークシートについての講演と「博物館で問いを考える」ワークショップも実施する予定です。

日時：8月3日（水）午前10時～午後5時（予定）

定員：30名（定員を超えた場合は抽選）

参加費：無料

お問合せ：学校と博物館連携担当

お申込み：必要 <締切 7月26日(火)>

■TM通信がダウンロードできます■

画像入りのTM通信をダウンロードしていただけます。
<https://omnh.repo.nii.ac.jp/> の、「インデックスツリー」で「TM通信」を選択、TM通信2022No.1のpdfをダウンロードして下さい。バックナンバーも随時公開します。

Teachers - Museum 通信 2022 No.1

2022/6/8

編集・発行：大阪市立自然史博物館

〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園1-23 tel 06-6697-6221 (博物館代表番号)

<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/> (学校向けページやキッズページも充実しています)

e-mail: tm@mus-nh.city.osaka.jp

※送付先の変更や、メールアドレスの変更などあれば、ご連絡ください。経費削減のため、なるべく通常の通信はEメールで連絡させていただきます。登録時に郵送を希望された方でメールアドレスを取得した場合は上記までご連絡ください。

■特別展「大地のハンター展 ～陸の上にも4億年～」を開催します■

特別展 大地のハンター展

今回の特別展では、捕食者（ハンター）に注目し、彼らのハンティングテクニックや歯や顎の形などから生き物の進化や、生態系における捕食者の役割や重要性を解き明かします。

自然界のハンターといえば、ライオンやオオカミなどの肉食動物が思い浮かびます。太古のハンターでは、ティラノサウルスなどの肉食恐竜でしょうか。他にも、ワニなどのハ虫類や、ワシやフクロウなどの鳥類、魚類にも他の生き物を襲って食べる種もいます。サイズは小さくとも、昆虫やクモにも肉食のものがいます。

獲物を狩るために、どのような特徴や技術があり、彼らはどのように進化してきたのでしょうか。食物連鎖のピラミッドの上の方に位置する彼らは、環境にどのような影響を与えているのでしょうか。さまざまな捕食者の標本展示から考えてみましょう。



▲イリエワニの頭骨標本



▲エメラルドゴキブリバチ

■開催概要■

- ◇名称 特別展「大地のハンター展 ～陸の上にも4億年～」
- ◇会期 2022年7月16日（土）～9月25日（日）
- ◇開館時間 9:30～17:00（入場は16:30まで）
- ◇休館日 月曜日（祝休日の場合は開館し、翌平日休館。ただし8月1日・8日・15日は開館）
- ◇会場 大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター2階）
- ◇入場料 大人 1,800円（1,600円）、高校生・大学生 1,500円（1,300円）、小中学生 500円（300円）
※（ ）は前売り料金。 ※未就学児は無料。 ※高生は要学生証。
※団体料金あり（20名以上）。
※特別展入場料で、大阪市立自然史博物館常設展（当日限り）もご覧いただけます。
※障がい者手帳などをお持ちの方は無料（要証明書／介護者1名を含む）
- ◇主催 大阪市立自然史博物館、日本経済新聞社、テレビ大阪
- ◇特別協力 国立科学博物館
- ◇公式サイト <https://www.tv-osaka.co.jp/event/huntersonland>
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等によって、内容を変更または中止する場合があります。

▽▲ 編集後記 ▲▽

4月以降は、緊急事態宣言やまん延防止措置が出ることもなく、今年は3年ぶりに春遠足でたくさん子ども達が博物館に来てくれました。同時に、学芸員によるリクエスト授業や職場体験のお話をいただくことも多くなりました。少しずつコロナ前の状況に戻ってきているような気がします。博物館の行事もできるようになったので、ご参加いただければと思います。（大江）



■学芸員によるリレーコラム⑩■ 今号は動物研究室の和田岳学芸員です。

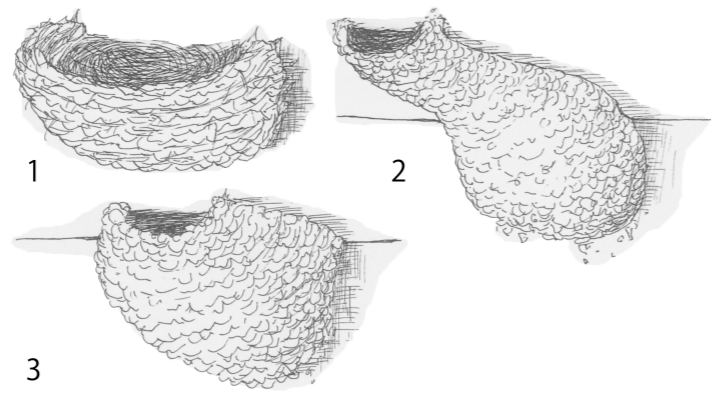
～大阪府のコシアカツバメとイワツバメの巣の情報募集～

大阪府で繁殖するツバメ類は、3種います。その巣を図1に示しました。多くの人に親しまれているツバメは、お椀形の巣を家屋の壁につけます。一方、コシアカツバメとイワツバメは、泥でつくったボール形・トックリ形の巣を人工建造物の天井に付けます。ツバメがバラバラに巣をつくることが多いのに対して、コシアカツバメとイワツバメは集まって巣をつくる傾向があります。

ツバメの巣がもっぱら家屋などの建物につくられるのに対して、コシアカツバメとイワツバメの巣は、橋・高架の下側によくつくられるほか、団地やマンション、体育館など少し大きな建物に巣をつくる傾向があります。建物に巣をつくる場合、ツバメの巣はたいいてい1階の天井近くにつくられます。一方、コシアカツバメとイワツバメは、団地なら最上階、マンションなら上層階など、1階天井よりも高い場所を選ぶのが普通です。

近年の大阪府でのコシアカツバメとイワツバメの分布を、図2と図3に示しました。ツバメ類3種は、日本全体ではいずれも減少傾向にあるとされています。大阪府でも、コシアカツバメは減少しつつあるようです。しかし、イワツバメは、1988年に大阪府で初めて繁殖が確認されてから、分布が拡大し続けています。

ただし、図2のコシアカツバメの分布図は、10年以上前のもので、現状は把握できていません。イワツバメの繁殖地は毎年新しい場所が見つかっており、見逃されている場所がありそうです。そこで、2022年～2023年に、この両種の大阪府での繁殖分布を調べることにしました。もし図1のような両種の巣を見つけたら、発見場所(住所を詳しく、あるいは緯度経度)、確認日、発見者名、観察内容(巣の数や状態、利用状況。巣へ出入りしていたか、周囲を飛んでいたか)を、自然史博物館の和田(wadat@mus-nh.city.osaka.jp)までお知らせください。



▲図1:大阪で繁殖するツバメ類3種の巣。左:ツバメ、中:イワツバメ、右:コシアカツバメ。外丸須美乃氏画。

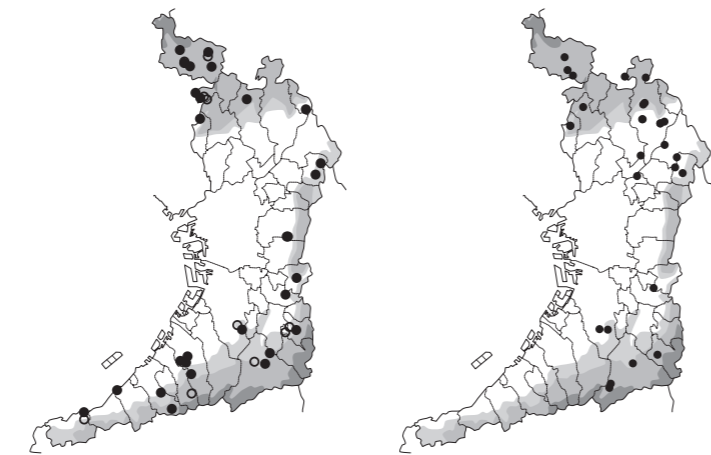


図2:大阪府内のコシアカツバメの営巣地の分布。2006年の確認地点。●:繁殖確認、○:繁殖可能性大。

図3:大阪府内で記録されたことのあるイワツバメの営巣地。2000年～2021年の確認地点。

■ 特別展「日本の鳥の巣と卵427」会期は6月19日まで■

すべての鳥は、卵として巣に産まれます。それぞれの鳥が、それぞれに場所を選んで、巣をつくり、卵を産んで、子どもを育てます。小海途銀次郎氏(大阪府河内長野市在住)は、鳥の巣を集めて約60年。そのコレクションは、日本産の鳥類を中心に168種427点に及び、日本最大で学術的に非常に価値の高いコレクションとなっています。この特別展では、小海途銀次郎氏の日本一の鳥の巣コレクションをすべて展示します。あわせて、それぞれの鳥の卵も並べて日本の鳥の巣と卵の多様性、日本で繁殖する鳥と、その変遷についても紹介します。

鳥の巣と一言と言っても、巣を作る場所や素材は多種多様。石や枝を積んだだけの巣から、植物を繊細に編み込んだ芸術的なものまで、これが巣なの?と思うようなものもあります。これだけの巣が一度に見れることは今後はもうないかもしれませんので、是非この機会に日本の鳥の巣の多様性を見に来ていただければと思います。

会 期:6月19日(日)まで ※月曜日休館
開館時間:9:30～17:00(最終入場は16:30まで)
会 場:大阪市立自然史博物館
花と緑と自然の情報センター 2階 ネイチャーホール
観 覧 料:大人 500円 /高校生・大学生300円
※中学生以下、障がい者手帳など持参者(介護者1名を含む)、大阪市内在住の65歳以上の方は無料(要証明)。

第52回特別展
Nests and Eggs of Japanese Birds

日本の鳥の 巣と卵427

こかいとぎんじろう
—小海途銀次郎 鳥の巣コレクションのすべて—

■ 行事案内■

自然史博物館では様々な行事を開催しています。申込みが不要な行事と必要な行事がありますので、行事情報をチェックしてご参加ください。博物館ホームページ「イベント」メニューからも申込みが簡単にできます。

◎ 申し込み方法

往復はがきか電子メールに、下記の内容を書いて博物館普及係あてに申し込んでください(※切日必着)。博物館のホームページからも、お申し込みいただけます。

1. 参加希望の行事名
2. 参加者全員の住所・名前・年齢・電話番号
3. 返信連絡先(往復はがきには返信用のあて名)

※定員を超えた場合は抽選することがあります。

抽選結果、集合場所、集合時間、持ち物など、詳しい内容は返信ハガキか電子メールでお知らせします。

◎ 申し込み先

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館 普及係

ホームページ: <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

e-mail: gyouji@mus-nh.city.osaka.jp

◎【ネット配信】となっている行事は、全てYouTubeを使った配信を予定しています。インターネット環境に接続することができるパソコン、スマホなどがあれば、ソフトなどをダウンロードする必要はありません。ネット接続できるパソコン・スマホは各自でご用意ください。

YouTubeの「大阪市立自然史博物館」チャンネル (<https://www.youtube.com/c/大阪市立自然史博物館/>) にアクセスして表題の番組をクリックしてください。開始時間になれば始まります。QRコード



▲自然史博物館のYouTubeチャンネル QRコード

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等によって、行事内容を変更または中止する可能性があります。

■特別展関連行事■

●特別展「日本の鳥の巣と卵427」ギャラリートーク

展示作成に関わった学芸員が、特別展を詳しく解説します。

日 時:6月11日(土)、18日(土)

午前12時30分～午後1時

参加費:無料(特別展観覧料必要)

お申込み:不要

●【ネット配信】特別展普及講演会「全国鳥類繁殖分布調査でわかった日本のそして大阪の鳥の現状と変化」

2016～2021年に全国のバードウォッチャーの手で実施された全国鳥類繁殖分布調査。この調査から森の鳥が復活傾向にあることなどがわかってきました。そして逆に減っていた鳥は? そうした結果についてご紹介します。

日 時:6月18日(土) 午後1時30分～3時30分

参加費:無料

講師:植田 睦之氏(バードリサーチ代表)

お申込み:不要

■植物園案内■

植物研究室の学芸員が長居植物園を案内し、その季節の植物の説明と観察を手引きします。また、動物研究室・昆虫研究室の学芸員が案内する、動物編・昆虫編もあります。

●植物園案内

日 時:毎月第1土曜日 午後2時30分～4時

集 合:自然史博物館 ポーチ

参加費:無料(植物園入園料必要)

お問合せ:植物研究室

お申込み:不要

●昆虫編「夏の昆虫」

日 時:7月23日(土) 午前10時～12時

定 員:20名(定員を超えた場合は抽選)

参加費:無料(植物園入園料必要)

お問合せ:昆虫研究室 長田

お申込み:必要<締切 7月8日(金)>

●動物編「はじめての鳥の羽根ひろい」

日 時:8月27日(土) 午前10時～12時

定 員:30名(定員を超えた場合は抽選)

参加費:無料(植物園入園料必要)

お問合せ:動物研究室 和田

お申込み:必要<締切 8月13日(土)>